

# みなさまからの期待の声：トラック協会編

(2021年11月)

(一社) 兵庫県トラック協会

**混雑緩和・定時性の確保により、ドライバーの労働環境の改善、人材の確保にも期待しています。**



(一社) 兵庫県トラック協会  
専務理事  
西川 孝秀 さん



(一社) 兵庫県トラック協会  
総務部長  
脇田 政司 さん

兵庫県トラック協会には、兵庫県内外を中心とした貨物自動車運送事業に携わる約2,200社が加盟されています。毎年、会員を対象にアンケート調査を実施しており、『渋滞で困っている箇所』については、多くのご意見があります。

特に要望として多いのは阪神高速3号神戸線

(以下、神戸線)の慢性的な渋滞に関する意見で、神戸線の渋滞は港湾部にアクセスするドライバーへの負担が非常に大きいと感じています。トラックドライバーに対し、沿道への騒音等のこともありますので、できるだけ阪神高速5号湾岸線(以下、湾岸線)への誘導をしていますが、神戸線や国道43号の渋滞で、湾岸線へ移るのも難しいことがあると聞きます。大阪湾岸道路西伸部が整備されれば、神戸線だけでなく、ハーバーハイウェイや国道43号の接続部などで発生している渋滞も解消されるのではと期待しています。



阪神高速3号神戸線の混雑状況(京橋ランプ付近)



出典：阪神高速道路株式会社提供資料(R1年度 平日平均)

また、運送業界ではドライバー不足という問題が深刻化しています。ミッシングリンクの解消は、広い意味で人材の確保につながると考えています。道路整備が進めば、労働時間の短縮となります。また、指定時間必着が重視されるドライバーにとっては、渋滞解消は精神的な負担軽減にもなります。

大きな災害が発生した際にも、並行する高速道路を整備していただくことで、緊急物資の輸送路の確保が期待されるため、できるだけ早期に大阪湾岸道路西伸部の整備を進めていただきたいと感じています。